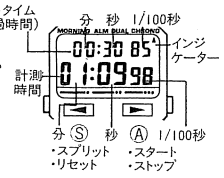
本書は、旧製品の取扱説明書を電子化したものです。
一部見えにくい箇所がございます。

記載されている内容はすべて販売当時のものです。
仕様や価格などは、その後予告なしに変更されることがあります。
あらかじめご了承ください。

ストップウオッチの使い方……操作のしくみにしたがい、Ⓒボタンを押し、ストップウオッチモードにします。

確認 ⇨ CHRONO ― インジケーターの点灯

ストップウオッチモード



ストップウオッチは1/100秒単位で59分59秒99まで計測でき(60分計)、以後自動的に0に戻って計測し続けます。また、計測中にⓁボタンを押すと上段にスプリットタイム(途中経過時間)が表示されますので、時間経過を見ながらスプリットタイムを知ることができます。

★計測のしかた……Ⓐ、Ⓢボタンを押すごとに操作確認音が鳴ります。

●通常の計測

Ⓐ スタート ⟹ Ⓐ ストップ ⟹ Ⓢ リセット

※積算計測……ロスタイムのある場合には、ストップ後リセットせずに再スタート(Ⓐボタンを押す)すれば表示タイムに引き続き計測をはじめます。

●スプリットタイム(途中経過時間)の計測

Ⓐ スタート ⟹ Ⓢ スプリット(1回め) ⟹ Ⓢ スプリット(2回め) ⟹ Ⓢ スプリット(3回め) ⟹ Ⓐ ストップ ⟹ Ⓢ リセット

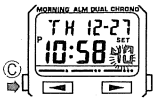
●1着、2着のタイム計測

Ⓐ スタート ⟹ Ⓢ 1着がゴール(上段に1着タイム表示) ⟹ Ⓐ 2着がゴール(下段に2着タイム表示) ⟹ Ⓢ リセット

秒の合わせ方……30秒以内の遅れ進みの修正

月に1度ぐらいこの「秒合わせ」をしていただくと、時計はいつも正確です。

(1)Ⓒボタンを押して、時刻セットモードにします。



(2)時報に合わせてⒶボタンを押すと「秒」が点滅しながら00秒からスタートします。

秒表示が00～29のときは切捨てられ、30～59のときは1分くりあがって、00秒からスタートします。



※時報は「時報サービス電話117番」が便利です。

(3)Ⓒボタンを押すと点滅が止まり、時刻・カレンダーモードに戻ります。

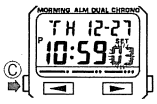


時刻・カレンダーの合わせ方

電池交換後など時刻やカレンダーが合っていない場合は、以下の方法で合わせてください。

(1)操作のしくみにしたがいⒸボタンを押して時刻セットモードにします。

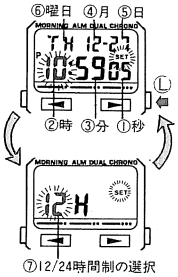
確認 ⇨ "秒"が点滅していますか？

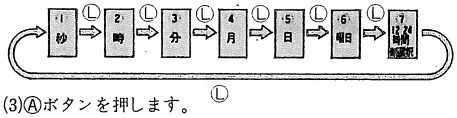


(2)Ⓛボタンを押します。

確認 ⇨ 点滅する個所が移動しましたか？

※セットモードのとき、Ⓛボタンを押すごとに点滅個所が以下の順で移動します。点滅個所がセット可能ですので、Ⓛボタンでセットしたい個所を選びます。



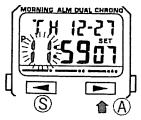


(3)Ⓐボタンを押します。

確認 ⇨ 点滅している表示が1つ進みましたか？

※Ⓐボタンを押すごとに点滅個所が1つずつ進み、Ⓢボタンを押すごとに1つずつ戻ります。それぞれ押し続けると早送りができます。

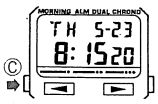
注) "秒"のとき Ⓐボタンを押すと表示が00になります。⇨「秒の合わせ方」参照。



Ⓛボタンでセットしたい個所を選び、Ⓐ、Ⓢボタンで表示をセットするという操作をくりかえしおこない、時刻・カレンダーを合わせてください。

注)「時」のセットのとき午前(不点灯)/午後(P)、24時間制にご注意ください。

(4)セットが終わったら、(どの個所が点滅していても)、Ⓒボタンを押すと時刻・カレンダーモードに戻ります。



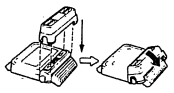
●カレンダーは大の月、小の月を自動判別するオートカレンダーですので、うるう年の2月29日以外は修正不要です。

ブースターについて

BA-80にはアラーム音量を増大することができるブースターがついています。

これは時計を腕からはずしてアラームを使用するときに(アラームセットを終えてから)装着してください。また時計を腕につけるときは外れて紛失する恐れがありますので、ブースターを必ずはずしてください。

〈ブースターの取り付け方〉



●鳴っている電子ブザーを止めるにはいずれかのボタンを押します。

●他モードへの切替え

ストップウオッチを使用中にⒸボタンを押して時刻・カレンダーモードなど他のモードにしても、その計測には影響ありません。

●モニターアラーム

時刻・カレンダーモードではⒶまたはⓈボタンを押し続けるとインジケーターの音量および鳴り方で電子ブザーが鳴ります。

またモーニングアラームモード、マルチアラームモード、デュアルタイムモードでⒶ

ご使用上の注意

温　　度●直射日光が長くあたったり、高温になる所に放置しないでください。
また、寒い所に長く放置しないでください。
●遅れ、進みが生じたり、止まったりすることがあります。また＋60℃以上の所に長時間放置すると液晶パネルに支障をきたすことがありますのでご注意ください。

防 水 性●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されているもの
洗顔や雨など日常の使用に耐える構造になっていますが、水泳・入浴・洗車時などでのご使用はお避けください。
【防水性能を保つために定期的(2～3年を目安に)なパッキン交換をおすすめします。】
●裏蓋にWATER RESISTまたはWATER RESISTANTと表示されていないもの
防汗構造となっておりますが、防水時計ではありませんので、直接、水に触れるようなご使用はお避けください。

ショック●通常の使用状態でのショックや軽い運動(キャッチボール、テニスなど)には十分耐えますが落としたり、強くぶつけると故障の原因になります。

磁　　気●磁気の影響はありません。

お手入れ●ケースやバンドの汚れ、汗、水分などは吸湿性のよい柔らかい布でふき取り、常に清潔にしてご使用ください。金属バンドについては時々、柔らかい歯ブラシなどによって、石けん水でスキ間にたまった汚れを部分洗いすることをおすすめします。
●汚れたままですとサビたり、衣類の袖口を汚したり、皮ふの弱い方はかぶれたりする場合があります。

薬 品 類●水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着するとケース、バンドなどに変色や破損を生ずる場合がありますのでご注意ください。

保　　管●長期間ご利用にならないときは汚れ、汗、水分などをふき取り、高温、多湿の場所をさけて保管してください。

バ ン ド●バンドは指が1本入る程度の余裕をもたせてください。

●電池交換について

最初の電池●工場出荷時にモニター用電池が組み込まれておりますので、記載された電池寿命に満たないうちに切れることがあります。

消　　耗●電池が消耗しますと「時刻の狂いが目立ったり」「表示が見にくくなったり」「消えたり」します。
●消耗した電池を使っていると故障の原因になりますので、お早めに交換してください。

電池交換●電池交換は必ずお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターにお申しつけください。
●電池は必ず当社指定の専用電池と交換してください。指定以外の電池を使用しますと故障の原因となる場合があります。

●液晶パネルの交換について

液晶パネルは約7年を過ぎますと数字や文字が読みにくくなる場合があります。その時はお買上げ店または最寄りのカシオサービスセンターに交換をお申しつけください。実費にて申し受けます。

製品仕様

水晶発振周波数：32,768Hz
常温携帯精度：平均月差±15秒以内
表示方式：FE型液晶デジタル表示
基本機能：時刻表示＝時・分・秒・午前／午後
：カレンダー表示＝月・日・曜日　オートカレンダー
モーニングアラーム機能：セット単位＝分　電子ブザー＝30秒(3段階で音量増大)
スヌーズアラーム音＝10秒間(セット時刻より5分後、10分後に報時)
マルチアラーム機能：アラーム1～4　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒
時報　毎正時に電子チャイムで報時
デュアルタイム機能：表示内容＝時・分・秒　デュアルアラーム　セット単位＝分　電子ブザー＝20秒
ストップウオッチ機能：計測単位＝1/100秒　計測範囲＝59分59秒99(60分計)
計測機能＝通常計測、積算計測、スプリットタイム計測、1・2着同時計測
セット機構：時刻・カレンダーセット機構、秒合わせ機構(±30秒クリア)
アラームセット機構、デュアルタイムセット機構、タイマーセット機構
その他：自動復帰機能　モニターアラーム　12/24時間制表示切替え
主要回路素子：音叉型高性能水晶振動子　ワンチップC/MOS-LSI
使用電池：CR-1616
電池寿命：約2年(1日当りランプ1秒点灯、電子ブザーを大音量で30秒使用した場合)
ただし電子ブザーを中音量で使用した場合は約3年となります。

CASIO
モーニングアラーム・マルチアラーム
1/100秒ストップウオッチ・デュアルタイム
462

(1)モーニングアラームモードのとき、Ⓛボタンを押すとアラームセット時刻の「時」が点滅します。
※SETが点滅します。

(2)「時」がⒶボタンを押すごとに1時間ずつ進み、Ⓢボタンを押すごとに1時間ずつ戻ります。Ⓐ、Ⓢボタンで鳴らしたい「時」にセットします。
※押し続けると早送りができます。

(3)「時」のセットが終わったら、Ⓛボタンを押すと「分」が点滅します。「時」と同様、Ⓐボタンを押すごとに1分ずつ進み、Ⓢボタンを押すごとに1分ずつ戻ります。Ⓐ、Ⓢボタンで鳴らしたい「分」にします。

(4)「分」のセットが終わったら、Ⓛボタンを押すと点滅は止まり、セット完了です。(セット時刻になると設定した音量で電子ブザーが鳴ります)
※Ⓒボタンを押すと直接時刻表示に戻ります。

午後5時30分にモーニングアラームON

●アラームのON/OFFについて
モーニングアラームモードのとき、Ⓢボタンを押すごとにセット時刻が表示されたり、「OFF-AL」が表示されたりします。
セット時刻が表示されているときがONの状態です。

マルチアラーム機能の使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、マルチアラームモードにします。

確認 ⇨ ALM ▲ ―インジケーターの点灯

マルチアラームモード
〈アラーム2表示〉

マルチアラームには時刻アラームが4つと時報があります。時刻アラームは(No.1～4)それぞれセット時刻になると電子ブザーが20秒間鳴ります。
また時報(No.0)は毎正時(00分のとき)に〝ピンポーン〟と電子チャイムで知らせます。鳴り方は「音量と鳴り方について」を参照してください。

●アラームのセット……アラーム1～4は同じ方法でセットできます。
(1)操作のしくみにしたがってⒶボタンを押し、セットしたいアラーム表示にします。
(2)Ⓛボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。
※点滅個所がセット可能です。

アラーム時刻表示 → ①時 → ②分 → アラーム時刻表示

(3)点滅個所がⒶボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓢボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※Ⓐ、Ⓢボタンとも押し続けると早送りができます。

Ⓛボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐ、Ⓢボタンでアラーム時刻をセットします。

(4)セットが終わったら、Ⓛボタンを押してアラーム時刻表示にします。
※Ⓒボタンを押すと直接「時刻・カレンダーモード」に戻ります。

アラーム3は午後4時にセット

●アラーム、時報のON/OFF
各アラーム表示(アラーム1～4)、時報表示のときⓈボタンを押すごとにアラーム時刻が表示されたり、「OFF-○」をくりかえします。
セット時刻が表示されているときがONの状態です。(時報は「:00」のときがONの状態です。)

アラームNo.4は午後10時にセット

デュアルタイムの使い方……操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、デュアルタイムモードにします。

確認 ⇨ DUAL ▲ ―インジケーターの点灯

デュアルタイムモード

デュアルタイムとは時刻・カレンダーモードとは別に海外時刻などもう1つの時刻をセットできる機能です。(秒は時刻・カレンダーモードと連動)
また、モーニングアラーム、マルチアラームとは別にアラームをセットすることができます。
デュアルタイムを海外時刻に合わせておけば、海外時刻でのアラームセットができますので、国際電話の予定などをセットできます。鳴り方は「音量と鳴り方について」を参照してください。

●デュアルタイムおよびデュアルアラームのセット
(1)デュアルタイムモードのとき、Ⓛボタンを押すとアラームセット時刻の「時」が点滅します。
※SETが点滅します。
(2)Ⓛボタンを押すごとに以下の順で点滅個所が移動します。
※点滅個所がセット可能です。

デュアルタイムモード → ①アラーム時刻「時」 → ②アラーム時刻「分」 → ③デュアルタイム「時」 → ④デュアルタイム「分」 → デュアルタイムモード

(3)点滅個所がⒶボタンを押すごとに1つずつ進み、Ⓢボタンを押すごとに1つずつ戻ります。
※Ⓐ、Ⓢボタンとも押し続けると早送りができます。

Ⓛボタンでセット個所を点滅させ、Ⓐ、Ⓢボタンで、アラーム時刻およびデュアルタイムをセットします。

(4)セットが終わったら、Ⓛボタンを押してデュアルタイムモードにします。
※Ⓒボタンを押すと直接「時刻・カレンダーモード」に戻ります。

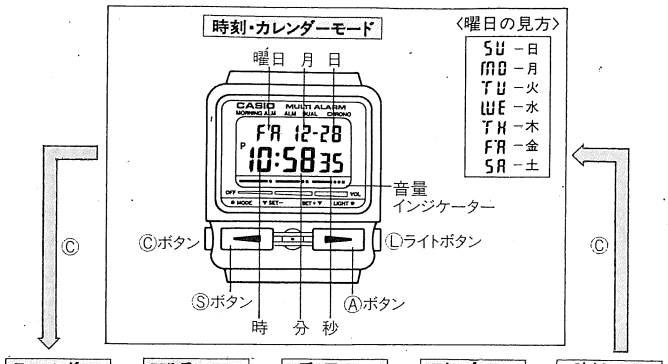
午前8時15分にセット

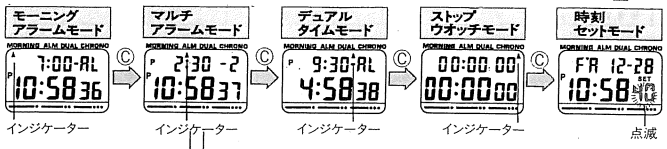
●デュアルアラームのON/OFFについて

このたびは、カシオデジタルウオッチをお買いあげくださいましてありがとうございました。末永くご愛用いただくために、この説明書をよくお読みいただき正しくお取扱いくださいますようお願い申しあげます。
なお、この使用説明書は大切に保存し、必要に応じてご覧ください。
時計のお取扱いで、万一、誤ったボタン操作を行なっても、製品に障害を与えることは一切ありません。この時計の特長、機能を十分使いこなしていただくためにも、ご納得のゆくまでお試しください。

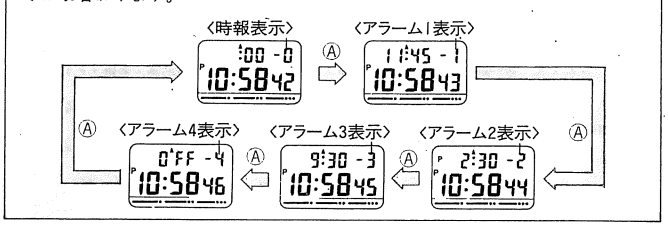
操作のしくみと表示の見方

Ⓒボタンを押すごとに以下の順でモードが切替わります。(押すごとに確認音が鳴ります)
※各モードでボタン操作をした後、Ⓒボタンを押すと直接、時刻・カレンダーモードに戻ります。

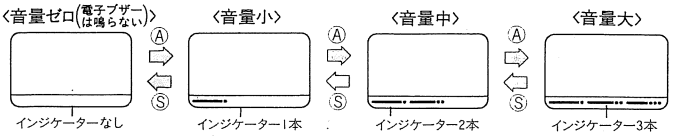




マルチアラームモードではⒶボタンを押すごとに各アラーム表示および時報表示が切替わります。



●音量の調節について
時刻・カレンダーモードではⒶボタン、Ⓢボタンはモーニングアラーム、およびマルチアラーム音の音量調節ボタンになります。(Ⓐボタンを押すごとに音量は大きくなり、Ⓢボタンを押すごとに音量は小さくなります。)
音量は3段階あり、音量インジケーターが3本表示されているときが最大音量、全て消えているときは音量ゼロとなり、電子ブザーは鳴りません。



●音量と鳴り方について
モーニングアラーム、マルチアラームでは設定音量によって下表のように鳴ります。

アラーム＼音量	音量ゼロ(インジケーターなし)	音量小(インジケーター)	音量中(インジケーター)	音量大(インジケーター)	報知時間	鳴り方
モーニングアラーム	鳴らない	チャイム音 A A' A"	電子音 B B' B"	連続電子音 C C' C"	30秒	3段階で大きくなる
モーニングアラームスヌーズ音	鳴らない	A"	B"	C"	10秒	一定音で鳴る
マルチアラーム(アラーム1～4表示)	鳴らない	A'	B'	C'	20秒	一定音で鳴る
デュアルタイムアラーム	鳴らない	D			20秒	一定音で鳴る

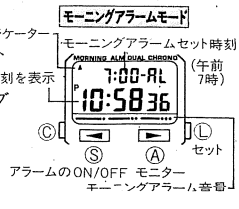
注) 音量ゼロに設定すると各アラーム(モニターアラームを含む)をセットしても電子ブザーや操作確認音が鳴りませんのでご注意ください。

モーニングアラームの使い方…操作のしくみにしたがってⒸボタンを押し、モーニングアラームモードにします。

確認 ⇨ MORNING ALM ▲ ―インジケーターの点灯

モーニングアラームモード

モーニングアラームは3段階で音量を設定でき、セット時刻になると30秒間電子ブザーが鳴ります。
また、セット時刻の5分、10分後に各10秒間ずつ電子ブザーが鳴ります。(スヌーズアラーム)
鳴り方は「音量と鳴り方について」を参照してください。



●セットのしかた